

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

富山県氷見市

3 地域再生計画の区域

富山県氷見市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1950年の70,149人をピークに減少を続け、2015年には47,992人と50,000人を切った状況である。

本市では、2015年から第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略に取り組んできたが、人口減少に歯止めがかからない状況にあり、最新の国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の人口は29,466人と2015年の約6割となることに加え、65歳以上人口が生産年齢（15～64歳）人口を上回る見込みである。

このまま人口減少が進行すると、生活関連サービスの縮小や行政サービス水準の低下、地域公共交通の撤退・縮小、空き家・空き店舗・耕作放棄地の増加、地域コミュニティの機能低下といった様々なことが懸念される。こうした課題に対応するため、次の基本目標を掲げ、行政のみならず市民をはじめ企業や関係団体が一丸となって、人口減少対策だけでなく、若者や女性をはじめ多様な世代の方がいきいきと住み、働き、子育てできる地域づくりに取り組むことで、人口が減少したとしても市民が幸せに暮らせるまちづくりを推進する。

- ・基本目標Ⅰ 住みたい街～いのちと暮らしを守る～
- ・基本目標Ⅱ 働きたい街～働く場所の創出で元気な氷見市へ～
- ・基本目標Ⅲ 育てたい街～ストップ・ザ・少子化～

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	住み続けたいと思う市民の割合（定住意向）	- %	85.0%	基本戦略 1
	人口社会増減率	△0.49%	△0.33%	
	若者（15歳～39歳）の転出超過数	△1,101人	△528人	
	健康寿命（上段：男性、下段：女性）	76.94歳 81.48歳	77.50歳 82.00歳	
イ	納税義務者一人当たり所得	260万円	270万円	基本戦略 2
	雇用保険適用事業所の被保険者数	8,833人	9,000人	
	新規求人数（上段：総数、下段：フルタイムのみ）	4,922人 2,577人	5,000人 2,600人	
	観光消費額	168億円	186億円	
ウ	婚姻数	141件	150件	基本戦略 3
	出生数	189人	230人	
	子ども女性比	0.165	0.202	

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第２期氷見市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 住みたい街をかなえる事業

イ 働きたい街をかなえる事業

ウ 育てたい街をかなえる事業

② 事業の内容

ア 住みたい街をかなえる事業

若者・女性のふるさとでの定着やUターンの促進、多様な関係人口やスポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大などによる氷見への移住・定住（I・Jターン）の促進、国土強靱化の推進など安全で安心して暮らせる基盤の充実、未来技術の活用などによる持続可能な地域社会の体制づくり、未病対策、介護予防対策などいきいきと暮らし続けられる健康づくりなど、住みたい街をかなえる事業。

【具体的な取組】

- ・小中学生への起業家教育など探究型教育の推進
- ・「氷見きときとファンクラブ（仮称）」の開設
- ・新文化交流施設の整備及び多様な芸術・文化イベントの開催等

イ 働きたい街をかなえる事業

エネルギーや地場産品等の地域内消費の促進などの市内経済活動の規模拡大、海・里・山の魅力を活かした観光振興及び産業振興、農林水産業をはじめとした産業人材の確保・育成、企業誘致の推進など、働きたい街をかなえる事業。

【具体的な取組】

- ・まんがのまちづくりの推進、まんがを生かした観光客の誘致と滞在時間の延伸
- ・産学官連携による新産業の創出
- ・学校給食等での氷見産食材の活用促進（食材コーディネーターの配置）等

ウ 育てたい街をかなえる事業

縁結び事業等による出会いの場創出など結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現、包括的な相談体制の構築や不妊治療の助成などによる妊娠・出産に関わる負担の軽減、

多様な家庭に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実、ぶり奨学プログラム等による教育に関わる経済的負担軽減、ICT教育の推進など次代を担う子どもを育む学校教育の充実、ワークライフバランスの推進、子どもが安心して遊べる環境の整備など、育てたい街をかなえる事業。

【具体的な取組】

- ・ 配慮が必要とされる児童と保護者を支援するキッズサポートセンター（仮称）の設置
- ・ 奨学金返済助成プログラムの実施（ぶり奨学プログラム等）等

※なお、詳細は第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,000,000 千円（2020年度～2025年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に産学官金労言の委員で構成された氷見市まち・ひと・しごと推進協議会による効果検証を行い、翌年度以降の取組み方針を決定する。検証後速やかに氷見市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2026年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2026年3月31日まで